

全CADでサブスク開始

ネットイーグル

新規ユーザーの開拓目指す

ネットイーグル(福岡市、祖父江久好社長)は、CADの提供でサブスクリプション方式を導入する。住宅会社や建築士事務所、ゼネコンなど新たなユーザーへの普及促進が目的で、月額利用料で最低3カ月から利用できる。初期投資負担を大幅に軽減することで導入を促し、住宅、非住宅の構造設計から構造計算、プレカットまで幅広い業種で一体的に活用してもらおうことを目指す。

同社はプレカットCADの開発、販売会社で、木造軸組(在来工法、金物工法)の「Xstar」、2×4の「XF24」、非住宅(大断面、CLT)の「XF15」を軸に、構造材、羽柄材、合板、断熱材、サイディング

グ、石膏ボード、フロア材から周辺部材へと開発範囲を広げてきた。軽天、基礎、ユニット鉄筋、鋼製型枠の各種CADのほか、構造計算、省エネ計算など様々なオプションソフトを販売している。

プレカット工場の機能拡張に合わせて構造が増えている。

従来、設計CADとプレカットCADは異なる市場として別々のソフトが活用されてきた。だが、図面どおりに加工できる同社のCADなら図面間の整合性、図面と現場の整合性を担保できるうえ、プレカットなど後工程を大幅に効率化できることから、今後、設計CADとしてのニーズは一段と高まると同社ではみている。

来年の建築基準法改正でニーズが高まると

戻りや承認などの業務が煩雑化する。データが完全連動する同社のCADなら、再入力、修正の必要がなく、作業負担を大幅に軽減できる。

サブスクでの提供はすべてのCAD、ソフトが対象(オプションのみは不可)で、ユーザーが自由にCAD、オプションを組み合わせてできる。期間は3カ月、6カ月、1年から選択でき、期間が長いほど割引になる。新たなシステムを導入する際の試行的な利用や新人研修、繁忙期のみのも増設など使い方は様々で、減価償却が不要で、経費計上できるのも利点。

同社では「CADソフトも所有から利用の時代になる。導入負担の軽減をここに新規ユーザーを開拓したい」と話す。